

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	・スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出等総合推進事業と naruto スポーツコミッションの取組 ・スポーツ推進計画
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

令和10年長野県で開催予定の国民スポーツ大会。上田市としてスポーツ施設の整備計画にあたり参考にすることや競技力向上の取組やスポーツを観光に結ぶ調査を目的とする。

2 実施概要

実施日時	視察先	香川県 鳴門市
令和7年1月30日(木) 10:00 ~ 11:30	担当部局	市民生活部 スポーツ課
報 告 内 容	1 市の概要 人口 54,746人 面積 135,66km ²	
	2 市の特徴 県の島北端に位置し、鳴門海峡を挟んで淡路島を望む、四国の東の玄関。北は播磨灘東は紀伊水道に面し、鳴門海峡の急流が作る渦潮で知られる。1998年に神戸淡路鳴門自動車道が開通し拠点性が向上。大塚製菓の創業地でグループ事業所が数多く立地。サツマイモの算出額は全国有数でなると金時が特産。	
	3 視察事項について ○スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出等総合推進事業 ・鳴門市はスポーツを通じた地域活性化とまちづくりを推進するため官民連携組織「NARYTO スポーツコミッション」を令和3年3月に設立している。 市内で行われるスポーツを通じた大会や合宿の開催をサポート。 公式ウェブサイトでは、市内のスポーツ施設・宿泊施設・飲食店・野球教室やトレーニング教室などの情報を提供している。 ・スポーツツーリズム	
	① スポーツイベント・大会の誘致 マラソン、トライアスロン、大会開催 鳴門渦潮マラソンや全国中学野球大会 e スポーツ大会の開催	

② 合宿・トレーニングキャンプの受け入れ

プロ・学生アスリートの合宿誘致 鳴門市の温暖な気候や充実したスポーツ施設を活かし、野球やサッカー、武道など合宿地として活用。
宿泊費補助などインセンティブを設けチームや団体の誘致を強化。

③ 地域資源を生かしたスポーツアクティビティ

「武道ツーリズム」 柔道、剣道、空手などの武道体験を提供し、国内外の観光客に魅力発信

「なるとれたび」(スポーツ足袋)体験 地元企業と連携し、履物を活かしウォーキングツアーや健康促進イベントの実施

「NRUTO スポーツフード」 スポーツ栄養を考慮した特製弁当の販売や地元食材を活用したヘルシーフードの提供

スポーツツーリズムの効果として

- ・経済の活性化 地域に滞在すること宿泊、飲食、観光施設の利用増加
地元産品を活かしたスポーツフードの開発により
特産品、ブランドの創出
- ・地域の知名度向上
- ・地域住民の健康促進 地元の人たちのスポーツイベントに参加する機会が増え、健康増進の意識が高まる
高齢者向けウォーキングイベントを開催し運動習慣定着促進
- ・地域コミュニティの活性化 スポーツを通じて市民が交流し、地域の一体感が生まれる。
ボランティア参加や地域企業の協賛活動が増え、地域全体の協力体制が強まる

○NARUTO スポーツコミッション

スポーツ大会・合宿の誘致など、スポーツを通じた地域活性化をさらに推進していくため、地方公共団体や市内スポーツ団体、経済団体、観光事業者、高校大学、県内プロスポーツチームなどからなる官民連携組織として令和3年3月設立。(8市16町村では初)

事業の4つの柱

- 1 スポーツ大会・合宿誘致と開催
- 2 スポーツイベント誘致と開催
- 3 スポーツツーリズムの推進
- 4 スポーツ関連産業の創出

○スポーツパス

鳴門市内の観光施や土産物店、鳴門うどん店で割引や粗品進呈などの特典が受けられるパス。鳴門市内で開催されるスポーツ大会・合宿に参加される方に配布
鳴ちゆるうどんクーポンやSOY JOY クーポン や観光施設特典利用状況は令和元年から年度によりばらつきはあるが、大会・合宿参加者に対し一定の経済効果はある。

○鳴門・大塚スポーツパーク

なると総合運動公園は大塚製薬がネーミングライツを取得し鳴門・大塚スポーツパークと呼ばれている。契約期間h5年間で年額2,500万、総額1億、2,500万。
ポカリスエットスタジアム、オロナミンC球場, アミノバリュウホール
ソイジョイ武道館
ネーミングライツを活用した地域活性化が進められている

○第2期鳴門市スポーツ推進計画

スポーツの意義 スポーツとは時代を担う子ども・青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重し協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を養い実践的な思考力や判断力を育むなど、人格の形成に資するもの。

また、年齢、性別、障がいなどの有無を問わず、心身の健康の保持増進、精神的充足感の獲得、自立心その他の精神の成長に重要な役割を果たすものであるから人間関係の希薄化などの地域課題の解決に寄与する可能性を持っている。

基本理連として

*スポーツうずまくまち なると

市民・国、県スポーツ団体など関係者との連携により基本理念の実践を図る

基本目標に対する課題

1 スポーツで子供たちを育てる なると

- ・生涯にわたるスポーツ習慣を身に着けるため、幼児期から遊びを中心とする身体札動画必要
- ・部活動やスポーツ少年団の部員団員や指導者の確保
- ・子どもたちの運動習慣の二極化が進んでいることから、体育行事や運動部活動の重要性が高まっている

2 誰もがスポーツを楽しむ なると

- ・市民のスポーツライフに関する実態調査では週1日以上スポーツの割合41, 4%。国の目標70%に向けた取り組みが必要。
- ・介護予防の一環としてのスポーツを活用した取り組み重要

3 スポーツがあふれる なると

- ・市民が参画するスポーツ環境を整備するうえで、関係団体と連携していく
- ・スポーツ推進委員の更なる資質向上を図り活動の幅を広げる
- ・スポーツ活動の拠点となる、新たなスポーツ施設の整備, 改修が必要

4スポーツで地域がにぎわう となると

- ・スポーツ大会・合宿誘致に関しては、件数の増加が経済活性化に直結するため更なる周知とより高い経済効果を生む仕組みを
- ・スポーツと鳴門市の歴史・文化・自然等を掛け合わせたスポーツツーリズムの取組、交流人口増加を目指す。

感想と市政に活かせること

鳴門市はスポーツツーリズムとして地域資源を活用した観光コンテンツの開発進んでいるスポーツを絡めた観光によるインバウンドの需要は必要性を強く感じる、見るだけの観光から体験する体験できる観光へとアスリートと共に家族にも目を向けていくことも可能である、これは経済効果にも結び付く。

健康を意識したスポーツフードはアスリートだけではなく健康のための食事としても地元飲食店とスポーツ栄養士が考案していくこともできる。

ネーミングライツの企業選定の重要性は波及効果が非常に大事である。
上田市第二次スポーツ推進計画は市民の健康増進や地域活性化を目的として策定されている。スポーツを通じてのコミュニティの活性化に結び付けるよう、改めてスポーツの持つ力を学んだ。

